

衆院議員の原口一博氏（立憲民主党）が会見、争う姿勢示す 新型コロナウイルスワクチン巡る製薬会社からの訴えに

佐賀新聞 2025/2/26



新型コロナウイルスワクチン「レプリコン」を巡り、立憲民主党の原口一博衆院議員（65）=佐賀1区=からの誹謗（ひぼう）中傷で名誉を毀損（きそん）されたとして、製薬会社が原口氏に損害賠償を求めた訴訟に関し、原口氏が25日、国会内で記者会見を開いた。原口氏は「ワクチンの承認や被害者救済の仕組みなど、手続きについて問題提起してきた」と述べ、争う姿勢を示した。

原口氏は「ワクチンそのものというより、（承認や被害者救済の）手続きについて言ってきた」と主張した。訴訟について「国会での活動を萎縮させ、活動を妨害するものではないか」と疑問を呈し、「利益が失われたのが私のせいだというのは到底受け入れられない話で、徹底的に戦っていく」と述べた。

製薬会社は「Meiji Seika ファルマ」（小林大吉郎社長、本社・東京）。訴状などによると、原口氏はSNS（交流サイト）や書籍で、レプリコンについて「生物兵器まがい」などと発言。その影響で多数の迷惑電話への対応を余儀なくされたほか、レプリコンの売り上げが見込みを大きく下回り、約55億円の利益が失われたとして、原口氏に1千万円の損害賠償を求めている。（大橋諒）

「がん患者や新型コロナやワクチンの後遺症に苦しむ人に寄り添って」 原口一博衆院議員が岸田首相に訴え

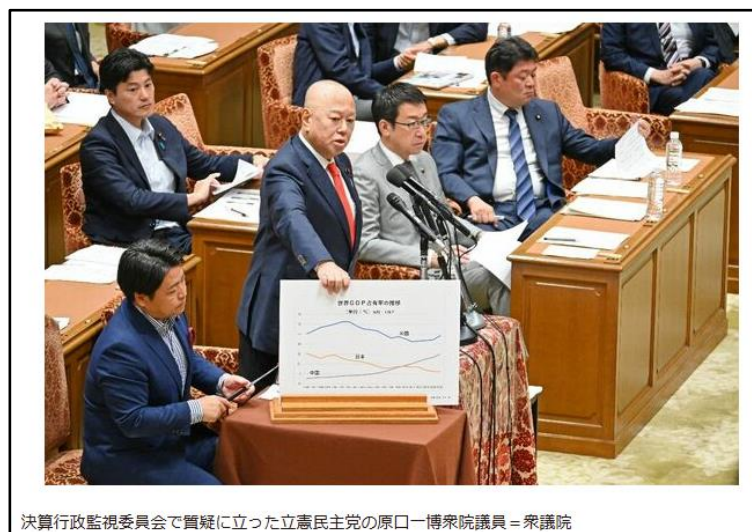
2023/06/12 23:20 佐賀新聞

立憲民主党の原口一博衆院議員（佐賀1区）が12日、決算行政監視委員会の締めくくり総括質疑に立った。悪性リンパ腫との闘病を公表したことにも触れ、がん患者への適切な支援の必要性も訴えた。

原口氏は自身の体調について「ようやくがんが消えた」と治療が進んでいることに触れ、「ぜひ総理には、がん患者や、新型コロナやワクチンの後遺症に苦しむ人に寄り添ってほしい」と投げかけた。

岸田首相は「（原口氏が）勇気を持って果敢に病と闘って、多くの方々に勇気や希望を与えており、心から敬意を表したい」と述べた上で、「（がん患者が）適切な

治療を受けながら安心して暮らしていける社会を作っていくのが重要だ」と強調し、環境整備や啓発に注力するとした。ワクチンの副反応についても、政府として実態把握に向けた研究や調査を行うとした。（大橋諒）



決算行政監視委員会で質疑に立った立憲民主党の原口一博衆院議員 = 衆議院